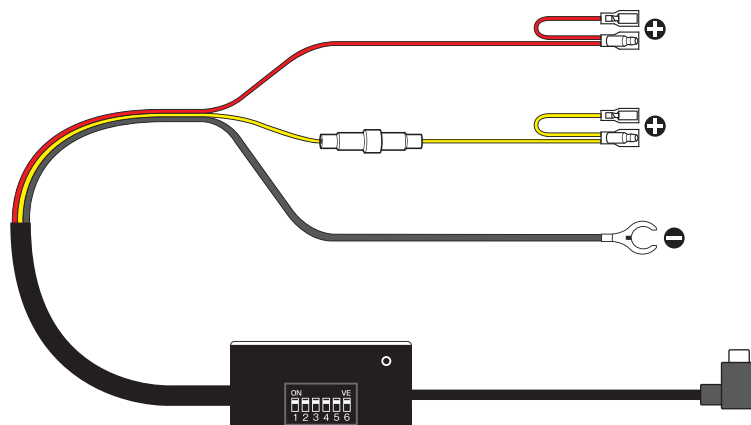


ドライブレコーダー用常時電源ケーブル SR-DROP01



常時電源ケーブルを使用すると、車両バッテリーの消費電力が多くなりますので、ご注意ください。また、常時電源ケーブルの接続を誤ると、バッテリー上がりの原因となりますので、ご注意ください。

ご注意

< ご注意 (あらかじめご了承ください) >

- 必ず、付属されている電源電圧監視ユニットおよび付属品をお使いください。付属品以外を使用した場合、電圧差等により本製品もしくは車両が損傷する場合があります。
- 安全に運転するため、運転手の視界を妨げたり運転を妨害することがないようにケーブルを配線してください。
- 端子の向きにご注意ください。また、無理に接続したり外そうとすると、本体端子およびケーブル端子が破損する場合があります。
- 駐車監視モード中は車両の常時電源（車両バッテリー）を使用するため、車両バッテリーへの負荷がかかります。定期的な車両バッテリーの点検を行ってください。
- 次の方は車両バッテリー上がりの原因になりますので、駐車監視モードのご使用を控えてください。
 - ・毎日走行しない方
 - ・1日の走行が1時間以下の方
 - ・車両バッテリーを1年以上使用している方
- ※上記はあくまでも目安ですので、バッテリーのコンディションを確認するようにしてください。
- 本機を使用したことによる車両バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 取り付けおよび配線の取り回しは運転の妨げにならないように行ってください。
- 車両自体の安全装置（エアバッグや安全運転支援システム等）に影響がない場所へ取り付けてください。
- 車両システム（ハイブリッドシステムや電気自動車等）によっては、期待した動作にならない場合があります。
- 長時間録画を行う場合、録画データが上書きされる場合がありますので、ご注意ください。
- 電源が供給されている間は、microSDカードへ録画記録を続けるため、microSDカードの寿命が短くなる可能性があります。
- 取り付けには専門の知識と技術が必要となりますので、販売店または専門技術者へ依頼してください。

免責事項について

- 車両に取り付けられた他の電装品の暗電流や使用環境によってもバッテリーに負荷がかかり、バッテリー上がりを起こす原因となります。
- 本製品の供給停止電圧値を設定する際にはご注意ください。
- 本製品を2日以上使用されない場合は、接続機器の電源をオフにしてください。
- 本製品にはバッテリー上がりを防止するために電圧監視機能を搭載していますが、バッテリーの劣化状態や使用状況によってはバッテリー上がりを防止できない場合があります。また、万が一バッテリーが上がっても当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 指定の本体以外に本製品を絶対に取り付けしないでください。重大な事故や火災の原因となる可能性があります。
- すべての状況においての映像を記録することを保証するものではありません。
- 本製品を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故などの損害は、弊社は一切その責任を負いかねます。

安全上のご注意

ご使用前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

警告

- **DC12V/24V マイナスアース車以外で使用しない**
DC12V/24V マイナスアース車以外で使用しないでください。火災や故障の原因となります。
- **エアバッグシステムの動作を妨げる位置には絶対に取り付け、配線をしない**
エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグの衝撃で製品や部品が飛ばされ、死亡事故の原因となります。
- **視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない**
運転操作を妨げる場所：ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルの近くなど。交通事故やけがの原因となります。

警告

- **取り付けやアース配線に保安部品を使わない**
保安部品：ステアリング、ブレーキ系統、タンクなどのボルトやナット類。制御不能や発火、交通事故の原因となります。
- **車両メーカーが指定する禁止エリアに取り付けや配線をしない**
カメラやセンサーなどの車両装置の動作を妨げる恐れがあり、交通事故の原因となります。禁止エリアは車両メーカーにお問い合わせください。
- **取り付け、配線は安全のため専門業者に依頼する**
取り付け、配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要です。誤った取り付けや配線をするると車に重大な支障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの専門業者にご相談ください。
- **配線作業中はバッテリーのマイナス端子を外す**
マイナス端子を外さずに作業すると、ショート事故による感電やけがの原因になります。
- **正規の接続をする**
誤った接続をすると火災や事故、故障の原因となります。
- **コード類は取り付け説明の指示に従い、運転操作の妨げとならないように固定する**
ステアリングやブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。
- **車体やねじ部分、シートレールなどの可動部に配線を挟み込まない**
断線やショートにより火災や故障、感電の原因となります。
- **コード類の配線は高温部を避けて行う**
コードの被覆が溶けてショートし、事故や火災の原因となります。

注意

- **水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所には取り付けない**
水や油煙などが入ると発煙や火災、故障の原因となります。
- **振動の多い場所や不安定な場所には取り付けない**
走行中に外れ、交通事故やけがの原因となります。
- **付属の電源ケーブルを使用する**
付属品以外の電源ケーブルを使用すると、火災や感電の原因となります。また、電源ケーブルの改造は行わないでください。

ご使用になる前にお読みください

ご使用について

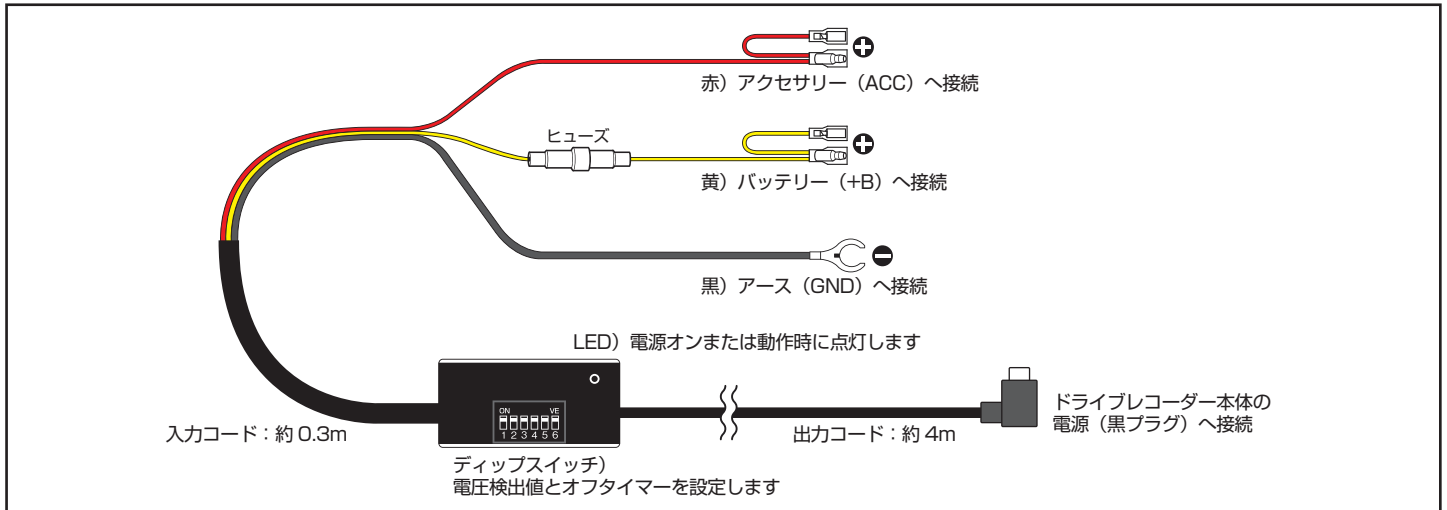
警告

- **本製品を分解、改造しない**
火災や感電、故障、データ損失の原因となります。分解、改造が故障の原因と認められた場合、保証は適用されません。
- **運転中に操作しない**
交通事故やけがの原因となります。必ず安全な場所へ車を停車させ、パーキングブレーキをかけた状態で操作を行ってください。
- **機器内部に水や異物を入れない**
金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電、故障の原因となります。
- **ヒューズは必ず規定容量を使用する**
ヒューズを交換するときは表示された規定容量のものをお使い下さい。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。
- **故障や異常な状態のまま使用しない**
万一煙が出る、変なにおいがする、内部に異物が入った、水がかかったなどの場合はただちに使用を中止してください。そのままご使用になると事故や火災、感電の原因となります。
お買い上げの販売店、もしくは弊社サポートセンターにご相談ください。

使用上のご注意

- 本製品は防水構造ではありません。本体・配線ともに必ず車内に取り付けてください。
- 本体は必ず両面テープ等で車両側の運転操作の妨げにならない場所に固定してください。また、使用中にケーブルが引っ張られ本体から外れないようケーブルの取り回しにご注意ください。
- 車両側及び本製品の配線を傷つけたり本体を変形させたりしないでください。
- 取り付け後に設定がおこなえるよう本体は設定可能な場所へ設置してください。
- 本体を直射日光が当たる場所やヒーターの温風が直接当たる場所・高温・多湿になる場所には設置しないでください。故障や誤作動等の原因となります。
- 本体または周囲の温度が使用温度範囲を超えると動作しなくなる場合があります。
- 本製品の使用により、受信状態の悪い（微弱電波）のラジオ放送では雑音が入る場合があります。
- 本体の掃除やお手入れの際には水、ワックス、その他の洗剤をかけないでください。故障や感電を引き起こす可能性があります。
- 本製品の動作電源は車両のバッテリーを使用しているため、車両のバッテリーに対して負荷がかかります。長時間車に乗らない場合や短距離の運転を繰り返すと、車載機器の消費電力により徐々にバッテリー電圧が低下してしまいます。バッテリー上がりを予防する為に、こまめに車のエンジンをかけてバッテリー電圧が下がらないように心がけてください。

接続について



⚠️ ご注意

- 配線の前に、必ずエンジンキーが抜かれていることを確認してください。またショート等による事故防止のため、必ずバッテリーのマイナス端子を外してください。
- 本製品の取り付け・配線には専門技術が必要となりますので、装着は販売店または、専門技術のある方にご依頼ください。
- ドライブレコーダー本体の取扱説明書もよくお読みください。

動作確認

1. 上記の図を参考に、接続機器へ接続後、車両スイッチを ACC または ON にしてください。
2. 接続機器が正常に起動することを確認後、車両キースイッチを OFF にしてください。
3. 本製品の LED が常時点灯より点滅の状態になったら、オフタイマーが動作します。

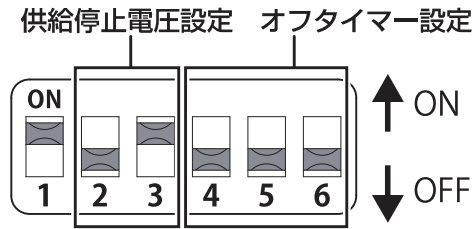
LED 確認図

LED ランプ(赤)表示	本体動作	内容
消灯	動作停止中	エンジン停止 (ACC オフ) 及びディップスイッチ 1 番オフ
点灯	動作中	エンジン始動 (ACC オン)
点滅 ※1 秒間隔	駐車監視動作中	エンジン停止 (ACC オフ) 及びディップスイッチ 1 番オン

設定について

設定方法

本体のディップスイッチを切り替えることにより、各種設定を変更できます。
※設定を変更する際には、車両キースイッチを OFF の状態で行ってください。



電圧監視およびタイマー監視設定（ディップスイッチ設定）

駐車監視モード時の電源供給停止方法は、ディップスイッチの設定により、電圧もしくはタイマーによる監視方法を選択することができます。

電圧監視

車両のバッテリー電圧を監視して、電圧が設定された電圧値に下がった場合、自動的に本機への電源供給を停止させ、電源を OFF にします。

タイマー（時間）監視

タイマーにより、設定された時間を経過した場合、自動的に本機へ電源供給を停止させ、電源を OFF にします。

タイマー設定値 0 時間 / 10 秒間 / 1 時間 / 2 時間 / 4 時間 / 6 時間 / 8 時間 / 12 時間

監視設定早見表

電圧とタイマーの組み合わせによって、以下の表に当てはまるアルファベットとディップスイッチ設定表を確認して、設定を行ってください。

※タイマーで設定されている時間に到達する前に車両のバッテリーの電圧値が設定されている電圧値に下がった場合は、電圧低下を優先して電源供給を停止します

電圧監視 \ タイマー（時間）監視	・ 11.3V(12V 車) ・ 23.3V(24V 車) になると停止	・ 11.6V(12V 車) ・ 23.6V(24V 車) になると停止	・ 12.0V(12V 車) ・ 24.0V(24V 車) になると停止	・ 12.6V(12V 車) ・ 24.6V(24V 車) になると停止
0 時間 ※電圧のみで監視する場合	A	B	C	D
10 秒間 ※10 秒後に電源電圧を停止	E	F	G	H
1 時間 ※1 時間後に電源電圧を停止	I	J	K	L
2 時間 ※2 時間後に電源電圧を停止	M	N	O	P
4 時間 ※4 時間後に電源電圧を停止	Q	R	S	T
6 時間 ※6 時間後に電源電圧を停止	U	V	W	X
8 時間 ※8 時間後に電源電圧を停止	Y	Z	AA	AB
12 時間 ※12 時間後に電源電圧を停止	AC	AD	AE	AF

⚠ 使用上のご注意

本体に電源が入っている状態または駐車監視中にディップスイッチの設定を切り替えしないでください。故障の原因となります。設定を変更したい場合は、本体の電源を OFF にしてから行ってください。

ディップスイッチ設定表

